

2019年度 同志社大学大学院 司法研究科

後期日程入学試験問題 法律科目試験

(憲 法)

第1問 (配点：50点)

次の(設例)を読んで、問に答えなさい。

(設例)

Y県A市B区(日雇い労働者が多く居住する場所)について、B警察署は、B区のC公園(日雇い労働者のための炊き出しなどが行われる公園で三角形をしている)の3つの角に街頭用防犯カメラを3基(1～3号機)設置し、撮影・録画を開始した。各カメラは360度回転する機能、24時間撮影・録画する機能、10倍のズームアップ機能がある(夜間でもズームアップ機能を用いればC公園を通過する人の顔などを判別することができる)。3号機は、C公園に隣接して日雇い労働者の権利擁護やボランティア活動を行っている団体の事務所に出入りしている者を撮影・録画することのできる場所に設置されている。この団体の代表者Xは警察による3号機のこのような使用は憲法に違反するのではないかと考え、法律事務所に出向き、憲法違反の主張の仕方について相談した。

[問]

あなたが応対にあたった法律事務所の弁護士であるとして、憲法違反の主張の仕方についてどのように説明すべきか述べなさい。なお、解答にあたっては、憲法第何条に違反することになるかも述べること。

第2問 (配点：50点)

憲法に定めのある衆議院の優越について説明した上で、これを法律によって拡張できるか否かについて述べなさい。